

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
17ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

- 冬支度に忙しい毎日です。畑から白菜、キャベツ、大根、ニンジンなどを収穫。特に大変なのがゴボウと長イモ掘りで、スコップ一丁の深さには手を焼きます(三浦稔さん 70歳・下新城)
- 夜、車に乗せてもらい市内を走っていたら、イルミネーションを飾っているところがありました。もうクリスマスが来るんだなと月日の早さに驚き、巡ってくる新しい年の幸せをそっと祈りました(相庭けいさん 80歳・牛島)
- とうとうインフルエンザにかかってしまいました。週末、剣道の試合があったのでとても残念です。早く治して試合に出たいです。早く一勝したいです!(剣道の悠さん 13歳・仁井田)
- 2歳の娘が、広報あきた11月20日号の表紙(火振りかまくら)を見て、「おじさん、熱くないの?」と心配していました。かわいいく!(ゆいパンドさん 30歳・寺内)
- 11月の広報に掲載されていた「子育て応援特別手当の支給停止」をととても残念な気持ちで見ました。この手当に助けてもらった家庭も多いのではないのでしょうか?しかし負債を増やしてまでとなるとそれもなんだかなあとも思ってみたり。難しい問題ですね(きはるなさん 31歳・仁井田)
- 一度、姉妹都市のドイツ・パッサウ市を訪れたと思います。いつか夢がかなうように、今から足腰を鍛えてチャンス待ちたいと思います(とんこさん 58歳・榎山)
- 市制120周年記念の絆づくりフォーラムに参加しました。河辺わさび座の「老い」がテーマの演劇にホロリとしました。明日はわが身です。しっかりしなくっちゃ!(さくらばあさん 59歳・桜)
- 11月1日、雄和公民館まつりの将棋大会のBクラス(初段格から三段格まで)に参加して、敢闘賞をいただきました!主催者のみなさん、おいしいおせんべいありがとうございました(赤田大輔さん 24歳・下浜)
- まちの駅あきたに行つてみ

地域のお話 おしえて!!

国際教養大学(雄和)の学生がヤマハゲ体験 青い目のヤマハゲが誕生?

年明け間もなく、雄和や下浜、豊岩で行われている小正月行事「ヤマハゲ」。その伝統に触れてみたいと、11月22日、国際教養大学の学生13人がヤマハゲのケラ(わらで作った衣装)と面づくりを体験しました。雄和沖村自治会の指導のもと、ケラは思ったより早く短時間で完成…がしかし、複雑な作りの面にはみんな大苦戦で、自治会のみなさんの助けて何とか仕上げることができました。メキシコ出身のアルマンド・シリバ・アレナスさんは、「衣装が独特で面白い。地元のみなさんと一緒にヤマハゲになりたい」と、その魅力にとりつかれたようです。

学生たちは1月に民家に泊まってヤマハゲ本番を体験します。いつもは山から来るヤマハゲですが、今冬は海を渡ってきた、青い目のヤマハゲを見ることができるかもしれませんね。



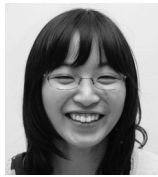
立派なヤマハゲが完成しました



アメリカ、メキシコなどからの留学生8人も参加



おしゃべりかわらばん



ほっとHOTクリスマス副実行委員長の木村優里さん(国際教養大1年)

クリスマスは中央街区へ

広島県出身だからか、地元の人気づいていない秋田の魅力がたくさん感じ、それを生かしたいといろんな行事に参加しています。12月23日・24日は中央街区でクリスマスイベント。笑顔の写真で作るモザイクアートにご協力を!

思いやりを広げたい

当会議所の「おもいやりの心推進委員会」が、多くの方の「ありがとう」の話が詰まった本を作りました。銀行や図書館などに置くほか、会議所ホームページでも公開しています。お問い合わせは同委員会へどうぞ。☎(824)7070



「ら・ブック&ノート」を発刊した秋田青年会議所の小畑宏介理事

貴重な出会いあります

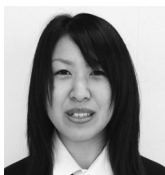
今年、秋田市に引っ越してきました。主任児童委員さんたちの子育てサロンでは、近所で知り合えない、おじいちゃんおばあちゃん世代のかたと触れ合えるのが良いですね。敬志郎もいつも大喜びで遊んでいます。



「きりんクラブ」に遊びに来ていた佐々木敬志郎くん(1歳)、春子さん(南通)

学院生活の集大成です

卒業制作展を来年2月3日から大町の赤れんが郷土館で開催します。みんな、夜遅くまで作品を作ったり、ポスター張りなどの宣伝活動をしたり頑張っています。私はカントリー調の食器棚を作りました。ぜひ見に来てください!



美術工芸短大附属高等学院木材工芸コース3年生の柴田麻未さん(泉)

心のバリアフリーを

文章を点字に訳すボランティアをしています。活動のPRのために触図(点字で立体的に書いた絵)のクリスマスカードを作りました。視覚障害があるかたは、特別でなく身近な存在だということも多くの人に感じてほしいです。



点字製作グループしらゆりの富田いく子さん(新屋・右)と藤原宮子さん(榎山)



今年の種苗交換会で、駐車場などをボランティアで清掃してくれた(社)秋田市建設業協会の方に、11月26日、感謝状をお贈りしました。

ました。ほかに人がいなく、ちよつと見ただけで帰ってしまいました:(笑)。時間が午前だったからかな? もっと賑わう場所になってほしいですね(下マトさん 56歳・新屋)
●父は立派な中学校校長です。仕事がない日は一日中ゴロゴロし、苦言も聞こえぬほどダラダラしています。仕事ではどんなに神経をすり減らしているのやら。定年までもう少し頑張ってください。貴殿が病気になるらぬよう、たくましい娘が見張っています(ちーさんばーさん 22歳・泉)

今年も残すところ2週間ほど。みなさんはどんな1年でしたか? クリスマスも終わっていないのに、振り返るのはまだ早いでしょうか?
私は、この時期になると、やり残したことがあっても、これもある(;)を一つでも今年中に終わらせることを目標にしています。その一つが、健康診断の精密検査を受けることです。新型インフルエンザも流行しますし、健康には十分気をつけて2010年を迎えましょう!
オリンピックもサッカーワールドカップもマチドオシー。(松嶋)



福祉保健部次長(中央)が表彰状を伝達(12月3日)

社会福祉の功労者として、次のみなさんが厚生労働大臣から表彰されました。

厚生労働大臣表彰



民生児童委員 佐々木洋吉さん(前列左) 梅森鈴子さん(前列右)

社会福祉事業従事者 佐々木信悦さん(後列左端) 加藤ちづ子さん(後列左から2人目) 浅野美紀子さん(後列右から2人目) 佐々木広喜さん(後列右端)